

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	同志社女子大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ドウシシャジョシダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F126310107573
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	京都府
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップII
	学部・研究科等名	表象文化学部英語英文学科
	担当教職員名・役職	風間 末起子:特任教授
	受講者数実績年度	令和5年度
	受講者数※キャリア形成支援活動参加者数	2
	受入企業等数	1
	受入企業等名	有限会社ワックジャパン
	産学協議会の整理上の類型	3.タイプ3 (汎用的能力活用型インターンシップ)
	キャリア形成支援活動の分類	7.高学年(大学3年次~4年次程度)又は修士課程学生を対象としたキャリア形成支援活動 10.中小企業でのキャリア形成支援活動
上記以外のキャリア形成支援活動の分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該キャリア形成支援活動は、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	本学の卒業生が起業した会社においてキャリア形成支援活動を実施することにより、職業観を形成し社会人として求められる能力や自己の適性を把握すること、英語英文学科の学びを通して身につけた英語運用能力や専門性を生かしながら、京都の文化やその発信について実践的に学び、さらに学科における学習効果を高めることを目的に、受入先の業態に応じた業務を社員とともに行う。
要素②	2-1.当該キャリア形成支援活動を正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、当該取組の実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するキャリア形成支援活動の内容	2.当該キャリア形成支援活動は、キャリア教育科目として実施している 6.当該キャリア形成支援活動は、選択科目として実施している 8.当該キャリア形成支援活動は、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているキャリア形成支援活動の内容	
	2-3.当該キャリア形成支援活動を実施する年次	大学 学部3年 大学 学部4年

項目	確認事項	届出内容
	2-4.当該キャリア形成支援活動で付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	高学年を対象に、夏期休業期間中の8日間の就業体験を組み合わせたキャリアデザイン科目「インターンシップII」として実施している。本科目では、学生の主体性に基づく、より高い就業意識と職業観の育成や専門分野への理解を促す。総合的に評価し、2単位を付与している。
要素③	3-1.インターンシップ等の就業体験の実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、キャリア形成支援活動の教育的効果が発揮されるよう就業体験実施期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップ等の就業体験における成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのキャリア形成支援活動の実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ等の就業体験実施期間中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	3回の事前学習で、インターンシップの目的や参加する意義の理解、実習に対する心構え、実習を通して何を学びたいと思っているかの確認、目標・課題設定、企業・業界研究（第1回）、ビジネスマナー講習（第2回）、実習中の1日の流れ確認、実習日誌の説明（第3回）
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	就業体験と自らの学びがどのようにつながったか、実習を通して何を修得したかを、担当教員と実習日誌を用いながら振り返る（1回）。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	「インターンシップII」担当教員が実習中に実習先を訪問し、実習生と面会して状況を確認する。受入れ先企業担当者に、実習生の取り組み状況を確認する。
要素④	4-1.キャリア形成支援活動の教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をキャリア形成支援活動の実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	事前課題、事後レポートにより効果を定性的に確認している。

項目	確認事項	届出内容
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のキャリア形成支援活動の実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合)	実習 8 日間
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	うち、就業体験の実施期間(5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	有限会社ワックジャパンにおいて、8日間の実習を行っている。事前指導3日間、事後指導1日。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、就業体験実施期間中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	受入れ企業の複数の担当者が、実習生が毎日作成する実習日誌を確認し毎日講評を書き入れる。実習中に本学教員と受入れ企業担当者が面談し状況を確認して、受入れに係る負担軽減に努めている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	
問い合わせ先	大学等名	同志社女子大学
	担当部署名	表象文化学部・文学研究科事務室（英語英文学科）
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	075-251-4103
	メールアドレス	eibun-i@dwc.doshisha.ac.jp